

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立津久野小学校
校長 中野 悦古

中学校区におけるめざす子ども像
 ・「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども・「豊かな心」正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども・「健やかな体」心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども

令和7年度 重点目標
 心豊かに、夢大きく、一人ひとりが輝く学校 ○安心・自信・夢をはぐくむ学校 ○「チーム力」を発揮し、地域とともに子どもを育てる学校
 「つながる（子ども・保護者・教職員・地域がさまざまな場面でつながる）・・・安心」「つづける（生活習慣・学習習慣の形成）・・・自信」「つくる（主体的に生きぬく自分）・・・夢」

<p>「確かな学び」の現状 ○問題解決的な授業についての研修に取り組み、主体的に考える場を設定した授業を行い、「自分で計画を立てて勉強しているか」の項目の結果が76パーセントと昨年度に比べて上がっている。 ○基礎学力については、年間を通して取り組んだ結果、定着してきた部分もあるが、学習から時間が空くと忘れてしまう傾向にあるため、学力の定着と向上のためには、今後も継続していく必要がある。 ○読書に関しては次年度への課題が残る。特に、高学年のほうが自己評価が低く、校内でできる読書推進の取り組みを考える必要を感じる。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状 ○なかよし活動では、思いやりのある縦のつながりがある。 ○なかよし活動や各学級の実態に応じて、長縄などに意欲的に取り組んでいる。 ○新体力テストの結果から、男女とも握力・立ち幅跳びで全国平均を上回った。（5年） ○「体育の授業でタブレットなどのICTを使ってできたりわかったりする」への肯定回答が65%以上である。（5年）</p>
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (年度途中)	達成状況 (年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	学びに向かう力	中学校まで一貫した授業スタンダードを確立する	●学力向上のための津久野スタディスタンダードに学校全体で取り組み、児童の実態に合わせた支援を取り入れる ★津久野中学校と連携してタブレットの活用を中心とした情報活用能力の推進に取り組む。	[津久野スタディスタンダード]の取り組みによる効果を検証する。	全国学力テスト IRT 調査	年度末	△	△	●落ち着いた学習できる教室環境をもう一度見直す必要がある。津久野スタディスタンダードは今後も継続して取り組んでいく。 ●授業でのタブレットの活用については、中学校区での連携した取組を今後さらに拡充していきたい。	○	●タブレットの利用状況が活発で、子どもの取り組み姿勢が良いことに感心した。
	授業改善	算数を中心に、子どもの情意を重視した問題解決的な学習を通して、主体的に考え表現する子どもを育成する。また、家庭学習や朝の学習時間を使って基礎学力の向上をめざす。	●昨年度の児童の実態より、数と計算の領域に絞り、児童が意欲的に問題解決にのぞめる授業づくりについて研修し、授業改善をすすめる。 ●全学年で朝の学習に継続して取り組み、基礎計算力の向上をはかる。 ●家庭への児童の学力の実態を伝え、自主学習ややり直しなど家庭での学習に活かす。	児童アンケート「算数の授業は好きですか」の肯定評価が75%以上。目標に沿った研究授業をしている。	児童アンケート	年度末	○	○	●学力の二極化が深刻である。低位の児童への手厚い支援がさらに必要である。昨年と比較すると教師からの支援だけでは限界があることがわかる。今年度はグループやペアでの話し合いによる課題解決に対する肯定意見が高かった。協同的に学ぶ機会を増やすことへの大切さを感じる。 ●今後も児童の基礎学力の確立という点は変わらず大切に朝学等の取り組みを進める。	○	●朝の学習で、繰り返し学習することで、自分の弱点を見つけることができていると思うので、これからも続けていってほしい。
豊かな心・健やかな体	心の教育	人権尊重を基礎とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する	●物事を最後までやり遂げる達成感、達成感を得られるようにし、自尊感情を醸成する。	「自分にはよいところがあると思う」の質問に対して肯定的評価が85パーセント以上。	全国学力テスト IRT 調査	年度末	○	○	●児童アンケートでは、「学校は楽しい」の質問に対して肯定的評価が86%で目標は達成した。前回を上回る結果となった。また、「みんなのためにそうじゃ仕事をする事ができる」の質問に対して、肯定的評価が88パーセントであった。	○	道徳教育は、少年期に育まれるものなので、小学校で取り組んでもらえるのはありがたい。ここで学んだことは将来必ず役に立つと思うので、続けて取り組んでほしい。
			●人権尊重の精神に基づく教育活動を展開するとともに、子どもたちの主体的ないじめ防止活動を推進する。いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの早期解決を図る。	児童アンケート「学校は楽しい」の肯定的評価が85%以上。	児童アンケート	年度末	○				

体力向上	生涯を通して健康・安全で活力のある生活を送るために、体力づくりを大切にし、スポーツを愛する子どもを育てる。	運動量確保や筋力向上のため、授業での「サーキットトレーニング」や「なわとびカード」を使用しながら体力づくりに取り組む。	体育の授業や体育的行事を通して、子どもたちの体力ののびをみる。	全国体力・運動能力、運動習慣調査 日々の体育授業	年度末	○	●授業での「サーキットトレーニング」に引き続き取り組んでいく。「かけあしカード」を使用し、達成者を掲示することで、かけあし活動への意欲向上をはかっている。	○	●授業での「サーキットトレーニング」に引き続き取り組んだ。かけあし活動の達成者は全校で63人ではあるが、運動場の広さが通常に戻ったことが関係している。体育が好きへの肯定回答が82%で取り組みの成果が見られる。	○	●「新体力テスト」の結果は、堺市平均を超えている項目が多かったため、これからも体力向上に努めてほしい。
		運動が好きで、自分から進んで体を動かそうとする子どもを育成する。	「運動することが好きだ」で肯定評価80%以上。	学校アンケート	年度末	○		○			
地域協働	信頼される学校 学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域の中にある学校として、地域人材の力を借りながら学校づくりを進める	学校ホームページ、校報、tetoru等を活用し、教育活動の発信に努める	学校HPを毎日更新する	実践報告	毎月	○	●HPの更新はほぼ毎日行うことができている ●地域と連携し、4年生は認知症講座、ふれあい清掃、1・2年生は昔あそび、5年生は地域学（津久野学）を行った。また、3学期も実施に向けての準備をしている。 ●7月に小中合同の研修会を行った。また、中学校区で連携し、中学校へ安心して進学できるように、小中間の情報共有を行っている。	○	●HPは、保護者アンケートで、94.8%が肯定的な回答であった。 ●地域とのイベントは、地域の協力のおかげですべて計画通りに行われた。また、今年はお祭版コミュニティ・スクール研修会で地域学校協働活動について民生児童委員会委員長が発表を行った。 ●1年生と幼稚園との交流は、学校閉鎖のため実施できなかったが、こども園が学校見学に来た。	○	●津久野校区として、子どもたちと関わっているように感じている。学校側もそれをどんどん利用してもらえればいい。ゲストティーチャーとして喜んで参加します。 ●ディスコンが3年後に市民オリンピックの正式競技になるので、子どもたちの参加も考え、計画していきたい。
		地域人材を積極的に活用し、地域とともに歩む学校づくりを推進する	地域人材をゲストティーチャーとして招いたり、堺学に系統的に取り組んだりする	実践報告	年度末	◎		◎			
		★保幼小の交流、小中一貫教育の推進を行う	保幼小の交流や小中相互の授業参観を行う	実践報告	年度末	◎		△			

校長より（年度末）
 児童一人ひとりの理解の進み方や学習ペースの違いから学力の二極化が進む中、個別支援が十分に行き届かなかった場面があった。今後は、基礎学力の定着を進めるとともに、授業改善の成果を職員間で共有し、組織として「わかる授業」の実現をめざす。

学校関係者評価者から（年度末）
 アンケートの集計結果は、保護者・子どもともに肯定的意見である。この調子で推し進めてもらいたい。取り組みを支持し応援しています。